

TOPIC

企業講話を開催しました

キャリア教育の一環として、熊本県経営者協会にご協力いただき、就職活動が本格化する2年生を対象とした企業講話を毎年実施しております。

今年度は、4月7日(水)、白鷺電気工業株式会社(熊本市) 代表取締役社長 沼田幸広氏にお越しいただき、御自身の就職活動体験や経営者から見た採用ポイントなど、多角的な視点で具体的にお話いただきました。



講師の沼田幸弘氏



密を避けて体育館で実施しました

グローバル時代に対応できる人材育成を

令和3年度(2021年度)新入生から、オンラインによる英語の試験「VELC Test®Online」を導入しました。

この試験は、試験結果が学生に詳細にフィードバックされるため学生自身で熟達度を確認でき、大学側も学生の学習成果や学力推移を継続的に把握できることから、前期後期各1回、受験機会を設けることとしました。

なお、受験料は、保護者が負担しています。

分散型の避難訓練を実施しました

万が一の火災等の発生に備え、例年、避難訓練や消火器の操作訓練から心肺蘇生法などの救急救命講習までを一連の流れとして実施しておりました。

しかし昨年度からは、新型コロナウイルス感染防止対策のため規模を縮小し、避難訓練のみ実施しています。

今年は、5月26日(水)午後、ホームルームの時間に、密を避けるため各学科(クラス)単位で実施しました。

学生は緊急放送で出火場所を確認し、間隔をとりながら、体育館前広場に集合するまでの流れを体験しました。



各教室から体育館前広場に集合

GiDai News

熊本県立技術短期大学校情報誌
R3(2021)第1号



熊本県立技術短期大学校情報誌 GiDai News R3 第1号 (情報誌通算 No. 47)
令和3年(2021)7月

発行：熊本県立技術短期大学校 編集：広報委員会
〒869-1102 菊池郡菊陽町原水 4455-1 (セミコンテクノパーク内)
Tel 096-232-9700 Fax 096-232-9292
URL <https://www.kumamoto-pct.ac.jp> E-mail: kpct@kumamoto-pct.ac.jp



令和3年(2021年)7月

EVENT

令和3年度(2021年度)入学式

89名の新入生を迎えました



蒲島知事の告辞を木村副知事が代読



新入生による宣誓

4月6日(火)に、本学体育館にて、第25回入学式を行いました。

新型コロナウイルス感染防止のため新入生、保護者(1家族1名)、本学教職員のみでの参加とし、式の模様はオンラインで配信しました。また、入場時は検温や手指のアルコール消毒、マスクの着用を徹底し、保護者の方には前後左右、一席ずつ間隔を空けて着席していただきました。

尾原校長は、「これから本学で多くを学び、知識と技術を身につけて、新たな社会で活躍していただきたいと思います。」と激励の言葉を贈りました。また、木村副知事が蒲島知事の告辞を代読し、「熊本の未来を担う優秀な人材として、職業人として大きく成長し、活躍されることを心から期待しています。」と励ましの言葉をいただきました。

続いて、新入生を代表して、I群(機械系)の角川広晃さんが「高度な知識と技術を併せ持つ実践技術者となるため、これからの2年間勉学に励みます」と力強く宣誓しました。

入学式は新入生の晴れの場。式が開催できたことは、新入生にも喜んでもらったことと思います。

新入生オリエンテーション

新生活への第一歩!



II群のオリエンテーションの様子

入学式翌日の4月7日(水)、I群(機械系)は本部棟製図講義室、II群(電子・情報系)はD棟大講義室にて、新入生オリエンテーションを行いました。

各科の教員が自己紹介を行った後、授業や学生生活における注意事項、新型コロナウイルス感染防止対策についての説明などを行いました。

翌日からさっそく始まる授業を前に、期待と不安が入り混じる新入生ですが、担任や学科の教員の話聞いていくうちに、少しずつ緊張がほぐれていく様子がうかがえました。

本学では、1年前期において、I群は機械系、II群は電子・情報系で共通した基礎知識や技術を学びます。その後、1年の後期から各群2学科ずつに分かれ、さらに専門性の高い技術の習得に努めます。

令和3年度(2021年度)の就職活動の第1歩



体育館で実施した学生就職面談会



担当者の説明を真剣に聴く学生

3月11日(木)と12日(金)の2日間、県内企業80社に参加していただき、対面による学生就職面談会を2年振りに開催しました。

88名の1年生(令和2年度当時)全員が、企業の採用担当者から直接話を聞く機会ができ、昨年よりも良い就職活動のスタートを切ることができました。

昨年同様、オンラインでの説明会や面接を行う企業が増えています。感染防止対策の観点から、できるだけオンラインに切り替える指導を行っております。対面での面接になった場合でも、学生に感染防止対策と体調管理に気を付けるよう促し、就職活動が不利にならないよう指導を行っています。

GROUP ACTIVITY (サークル活動)

これまでの活動と今後の活動



令和2年度(2020年度)は、5つのサークルが活発に活動しました。

<体育系>

- ・野球サークル
- ・バレーサークル
- ・筋トレサークル

<文化系>

- ・軽音サークル
- ・CAD製図サークル

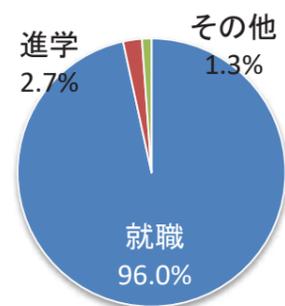
技大のサークル活動は毎年新たに発足するため、個人がやりたいサークルを作りやすくなっています。今年度はコロナ禍のため、まだ始動できていませんが、これから新規部員を募集し活動していく予定です。

卒業生の進路・就活生の活動

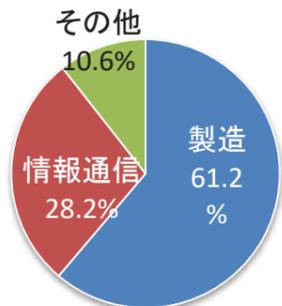
令和2年度(2020年度)も就職率100%達成

令和2年度(2020年度)卒業生(75名)のうち就職を希望していた72名全員が就職し、就職率は100%となりました。そのうち、県内に就職したのは約80%でした。

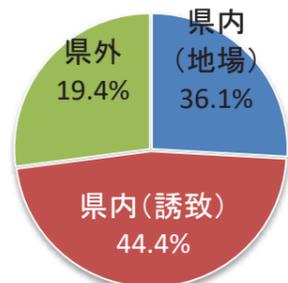
卒業生の進路内訳



業種別内訳



所在地内訳



令和2年度(2020年度)卒業生の主な就職企業

敬称略

県内企業(地場・誘致)

イズミ車体製作所、Hmcomm、NEC ファシリティーズ、荏原製作所、オムロン阿蘇、オーロラユニオン、開成工業、合志技研工業、サントリービール、再春館システム、SYSKEN、システムニシツウ、白鷺電気工業、シーディア、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、ソフトウェアビジョン、タイハイテクノス、テクノデザイン、ナカヤマ精密、西田鉄工、濱田重工、肥銀コンピュータサービス、平田機工、堀場エステック、三菱電機、リンクテクノロジー、YKK AP 九州

県外企業

システムアーク、Sohwa&Sophia Technologies、ソフト九州、TDC ソフト、京セラ、ダイキン工業、日産自動車、日立産機システム、富士通エフサスシステムズ、mirate、ラムリサーチ

進学状況

技大での専門課程(2年間)を終了した後、大学の3・4年次に対応する職業能力開発大学校応用課程(2年間)に進学(編入)することが可能です。

令和2年度(2020年度)は、九州職業能力開発大学校(九州能開大)応用課程に2名が進学しました。

令和3年度(2021年度)は、現時点で進学希望者8名のうち3名が推薦入試で合格し、5名がこれから一般入試に挑みます。

最近の進学状況

(九州職業能力開発大学校応用課程 等)

令和2年度(2020年度)卒業生	2名
令和元年度(2019年度)卒業生	2名
平成30年度(2018年度)卒業生	7名

CAMPUS LIFE

授業風景

充実した環境・設備と専門力を高めるカリキュラム



1人1台で行っているCAD実習



フライス盤加工実習



座席の間にパーティションが設置された教室で各学生がPCを操作する授業を実施

技大では、学生が2年間で専門の基礎力と応用力を身につけるために、I群(機械系)とII群(電子・情報系)において、それぞれの教師陣が、教材や教育方法を工夫しながら専門力を高める授業を行っています。

教育機材のほとんどが1人1台、PCはCAD用・プログラミング用など1人2台という恵まれた環境にあります。

新型コロナウイルス感染防止対策は、マスク着用に加え、適切な座席間隔の確保、必要に応じたパーティション設置、各教室での消毒薬の設置などを実施しながら、各種授業・実習を行っています。

技大の特色である少人数制は、対面による授業等が継続できている理由の1つです。

ある日の1コマ



1年生のうちから技能検定受験希望者は教師の指導のもと、技術を習得します
左は電気系保全作業3級、右は電子機器組立て2級に向けた訓練の様子です



個室でマスクを外してWEB面接を受ける学生

自治会の紹介

自治会は、会員である技大の学生相互の親睦を図り、充実した学生生活の場を創り上げていくことを目的に活動しています。今年度は、会長の原山哉さん(電子情報技術科2年、写真の前列中央)を中心に役員代議員24名が中心となり、自治会行事を企画運営していきます。

今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、5月19日(水)にWeb会議システムを使用してオンラインで自治会定期総会が行われました。

原山さんは、「今年は新型コロナウイルスに負けないように自治会全体でしっかり計画を立て、大学が活気づくようなイベントを開催できるようにしっかり準備していきます。」と力強く語ってくれました。



技大の新型コロナウイルス感染防止対策は“ハイブリッド”

対面授業 連続日数更新中！

～休校明けの2020年5月18日から連続410日(7月1日現在)～

“一人ひとりに目が届く”という少人数制のメリットを活かし、ソーシャルディスタンスを保てる工夫と日常点検チェックシートの活用などを行い、対面授業を続けています。



項目	確認
換気	
消毒	
検温	
マスク着用	
手洗い	
2m以上の距離	
咳エチケット	
体調不良者の発見	
その他	



対面での行事でも授業と同様の対策を実施



学外での進学ガイダンスの様子



昨年度の数学セミナーの様子

オンラインで技大の魅力に触れていただけるような工夫



5分でわかる紹介動画を技大のホームページで見ることができます。入試制度などの資料も掲載しています。



Zoom を使ったオンライン個別相談を随時受け付けています。各科での学びや入試制度、学生生活、学費、就職実績のことなど、さまざまな疑問にお答えします。

学生に1人1台 ノートパソコンを貸与



休校になってもオンライン授業をスムーズに受けられるように、また、自宅での学習やオンライン面接の練習などにも活用できるように、今年度からノートパソコンを貸与しています。更に、オンライン授業の模擬授業(右側の写真)も行っており、学生も教職員も手探りではありませんが、オンライン授業に切り替わっても対応できるよう、着実に準備を進めています。

学内Wi-Fi環境 整備中



学内で場所を気にせず学生がオンライン授業を受けられるよう、講義室にアクセスポイントを設けるなど技大施設内のWi-Fi環境整備を進めています。環境が整備できれば、対面による通常授業とオンライン授業それぞれのメリットを活かすことが可能となります。

オンライン就職活動への対応



毎年11月に訪問型で行っている企業実習を昨年度はオンラインで実施しました。「複数の企業様を体験できて良かった」と学生に好評でした。



首都圏だけでなく県内の多くの企業様が、オンライン面接を導入しています。技大では、学内でオンライン面接を受けられる環境を整備しています。